

## V.1. 教員の教育研究・社会貢献活動

(2020年4月1日～2021年3月31日)

### (3) 日本語・日本文化専攻

#### 【日本語学・言語学】

#### 今井 忍 (IMAI Shinobu) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語学研究IVA、日本語研究指導A、日本語研究指導B、日本語学特別研究A、日本語学特別研究B

〈共通教育担当科目〉

[研究活動]

〈研究テーマ〉日本語の形態法に関する認知言語学的研究

〈所属学会〉日本言語学会、日本認知言語学会、国際認知言語学会、関西言語学会、言語処理学会、日本語文法学会

[研究業績]

〈研究助成〉

・ 科研費（基盤研究 (c)）「日本語と英語における語種と複合語の関係から見た借用の一般理論」（課題番号 18K00575）

[その他の活動]

〈管理運営〉日本語日本文化教育センター総務委員会委員、全学情報化推進会議委員、ODINS 運営部会委員（部局ネットワーク担当者）、全学情報セキュリティ対策室員、部局 CSIRT、部局情報セキュリティ委員、部局情報システムセキュリティー責任者、部局人権問題委員会委員

〈社会貢献活動〉大阪YWCA 専門学校日本語教師養成講座講師

#### 岩井 康雄 (IWAI Yasuo) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語・日本文化特別研究A・B、日本語学特別研究A・B、日本語学研究VA、日本語研究指導A・B

[研究活動]

〈研究テーマ〉①語彙カテゴリーと音韻 ②破裂音の有声性

#### 岸田 泰浩 (KISHIDA Yasuhiro) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 対照言語学研究ⅡA、日本語研究指導 A・B、対照言語学特別研究 A・B

[研究活動]

〈研究テーマ〉 類型論（格、明証性）、コーカサスの言語（アルメニア語、グルジア語）

〈所属学会〉 日本言語学会、日本語日本文化教育研究会、ユーラシア言語研究コンソーシアム

[その他の活動]

〈管理運営〉 大阪大学日本語・日本文化国際フォーラム実行委員

〈社会貢献活動〉 大阪 YWCA 専門学校日本語教師育成講座講師

### 荘司 育子 (SHOJI Ikuko) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 日本語学研究ⅠA、日本語研究指導A、日本語研究指導B、日本語学特別研究A、日本語学特別研究B

[研究活動]

〈研究テーマ〉 日本語の機能語に関する諸現象について

〈所属学会〉 日本語学会、日本語文法学会、日本言語学会、関西言語学会、日本語教育学会

[その他の活動]

〈管理運営〉 学生交流プログラム検討 WG、Maple 運営 Sub-WG、学生交流推進 WG、CJLC 学務委員会委員長、CJLC 教育関係共同利用拠点運営委員、CJLC 教育関係共同利用拠点日本語連携教育部門長、その他 CJLC における各種コーディネーター、事業担当等。

〈社会貢献活動〉 大阪 YWCA 「日本語教師養成講座」講師

### 中田 一志 (NAKATA Hitoshi) 教授

[http://cjl.osaka-u.ac.jp/~hitoshi\\_nakata/](http://cjl.osaka-u.ac.jp/~hitoshi_nakata/)

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 日本語学研究、日本語学特別研究、日本語研究指導

〈日本語日本文化教育センター担当科目〉 日本語学研究基礎、日本語学研究、日本語上級文法・語彙、日本語・日本文化研究指導

〈共通教育担当科目〉 学問への扉

[研究活動]

〈研究テーマ〉 現代日本語文法と日本語文法教育

〈所属学会〉 日本語日本文化教育研究会、日本言語学会、日本語学会

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

・単著「「言いさし文」による語用論的意味についての覚書」『日本語・日本文化』48、pp. 147-168 (2021年2月)

[その他の活動]

〈研究助成〉

・基盤B「推論過程の言語化における地域語のダイナミクスに関する研究：九州方言を中心に」の研究分担者

### 堀川 智也 (HORIKAWA Tomoya) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語学研究、日本語学特別研究

〈共通教育担当科目〉基礎教養科目

〈学部教育担当科目〉日本語学講義、日本語学演習、言語学概論、日本語

[研究活動]

〈研究テーマ〉日本語の意味と文法

〈所属学会〉日本言語学会、日本語文法学会、日本語教育学会、日本語学会、日本認知言語学会

[その他の活動]

〈学会活動〉日本語文法学会大会副委員長、日本認知言語学会理事

### 薦 清行 (TSUTA Kiyoyuki) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語学研究V B、日本語学特別研究A B、日本語研究指導A B

〈共通教育担当科目〉日本語学研究基礎(春夏)、日本語学研究基礎(秋冬)、日本語上級読解(春夏)、日本語・日本文化研究指導(春夏)、日本語・日本文化研究指導(秋冬)、自主研究(春夏)、自主研究(秋冬)

[研究活動]

〈研究テーマ〉日本文学・古代中世日本の言語と文化

〈所属学会〉訓点語学会・日本語学会・東方学会・萬葉学会・日本語日本文化教育研究会

[研究業績]

〈論文〉

・薦清行「抄物研究から：翻訳・注釈としての訓点資料と抄物」『訓点語と訓点資料』146、2021年3月

〈研究助成〉

・2020年度科学研究費補助金基盤研究C「抄物を中心とした中世後期の学問のネットワーク」(研究代表者)

・2020年度科学研究費補助金基盤研究B「抄物の文献学的研究」(研究分担者)

・2020年度科学研究費補助金基盤研究C「古代・中世の《翻訳》意識—訓読と翻案のあいだを探る—」(研究分担者)

[その他の活動]

〈学会活動〉日本語日本文化教育研究会運営委員

〈社会貢献活動〉大阪 YWCA 専門学校講師

## 村田 真実 (MURATA Mami) 准教授

### [教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語研究指導 A、日本語研究指導 B、日本語学研究VIB

〈その他担当科目〉日本語中上級聴解（春夏）、日本語中上級聴解（秋冬）、日本語学研究基礎（春夏）3、日本語学研究基礎（秋冬）4、日本語・日本文化研究指導（春夏）、日本語・日本文化研究指導（秋冬）、総合日本語 9B：聴解

### [研究活動]

〈研究テーマ〉日本語学関連：方言学、社会言語学、音声学、音韻論

〈所属学会〉日本方言研究会、日本音声学会、日本語学会、日本音韻論学会、日本言語学会、日本行動計量学会、訓点語学会、早稲田日本語学会、文理シナジー学会、近畿音声言語研究会、日本語日本文化教育研究会

### [研究業績]

#### 〈研究助成〉

- ・「日本語学習者に対する方言聴解力向上のための教材開発－近畿共通語を中心に－」日本学術振興会 科学研究費 挑戦的研究（萌芽） 研究代表者（2019-2022）

### [その他の活動]

〈管理運営〉箕面地区事業場安全衛生委員、部局内安全衛生委員、日本語日本文化教育センター 学務委員

〈学会活動〉トルコ日本基金 日本語・日本文化研究応用教育センター 学術委員 (Bilim Kurulu, JAPON DİLİ VE KÜLTÜRÜNÜ ARAŞTIRMA- UYGULAMA- EĞİTİM MERKEZİ)、日本語日本文化教育研究会 事務局

## 山川 太 (YAMAKAWA Futoshi) 准教授

### [教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語学特別研究 AB、日本語研究指導 AB、日本語学研究IV B

〈日本語日本文化教育センター担当科目〉日本語・日本文化研究指導（春夏）、日本語・日本文化研究指導（秋冬）、日本語中上級文章表現（春夏）、日本語学研究基礎（秋冬）、日本語学研究（春夏）、日本語・日本文化研究指導（春夏）、日本語・日本文化研究指導（秋冬）

### [研究活動]

〈研究テーマ〉意味構造と統語構造との連関

〈所属学会〉日本言語学会、日本語学会、日本英語学会、西日本言語学会

### [その他の活動]

〈管理運営〉日本語日本文化教育センター総務委員、大学院日本語・日本文化専攻入試専門部会

〈社会貢献活動〉大阪 YWCA 「日本語教師養成講座」講師

〈学会活動〉 西日本言語学会運営委員

### 儀利古 幹雄 (GIRIKO Mikio) 講師

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 日本語研究指導、日本語学研究

〈共通教育担当科目〉 教養としての日本語

〈学部教育担当科目〉 日本語、日本語学講義、日本語学概論、日本語学演習

[研究活動]

〈研究テーマ〉 日本語のアクセント、日本語諸方言における音声的变化

〈所属学会〉 日本言語学会、日本音声学会、日本音韻論学会

### 山泉 実 (YAMAIZUMI Minoru) 講師

<https://researchmap.jp/yamaizumiminoru>

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 対照言語学研究 IA・IB、対照言語学特別研究 A・B

〈共通教育担当科目〉 日本語・日本文化を考える A

〈学部教育担当科目〉 対照言語学概論、日本語 5、日本語 15、日本語 IIa・b、言語学講義 a・b、言語学演習(A・B)、国語科教育法 VI

[研究活動]

〈研究テーマ〉 認知的視座からの名詞句の意味論・語用論、指示参照ファイル理論、視座俯瞰認知メタ形而上学

〈所属学会〉 日本言語学会、日本科学哲学会、日本語用論学会、日本認知言語学会、日本語文法学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・ 山泉実 (2020) 「指示参照ファイル理論序説」『日本語・日本文化研究』30: 1-28. 大阪大学言語文化研究科日本語・日本文化専攻.
- ・ 山泉実 (2020) 「認知的視座からの意味論と形而上学」『日本語・日本文化研究』30: 29-52. 大阪大学言語文化研究科日本語・日本文化専攻.
- ・ 山泉実 (2021) 「潜伏疑問名詞句再考」『言語文化研究』47:101-121. 大阪大学大学院言語文化研究科.

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・ 山泉実 (2020) 「並列名詞(句)の意味論と形態論: 選言名詞(句)と連言名詞(句)」第119回慶應意味論・語用論研究会.
- ・ 山泉実 (2020) 「「並列名詞」とそれが主要部になる名詞句: 両者の意味の関係と語彙的特徴」形態論・レキシコンフォーラム2020口頭発表.
- ・ 山泉実. (2020) ワークショップ「理論言語学を科学哲学する: 生成文法、形式意味論、認知言語学

の未来」(司会・趣旨説明を担当) 日本言語学会 第 161 回大会.

- ・山泉実.(2021) シンポジウム「言語(研究)の基礎」(趣旨説明を担当) 基礎言語学研究会 設立シンポジウム.

〈研究助成〉

- ・日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究(B)「コンピュータ文名詞句の解釈多様性を扱える認知語用論の構築」

[その他の活動]

〈学会活動〉 基礎言語学研究会運営委員

### 小池 康 (KOIKE Yasushi) 助教

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 日本語学研究ⅡA B

〈共通教育担当科目〉 日本語・日本文化を考える

〈学部教育担当科目〉 日本語学演習Ⅰa b、日本語学概論、日本語学講義Ⅰa b、日本語3、日本語12

[研究活動]

〈研究テーマ〉 日本語文法、日本語史

〈所属学会〉 日本語学会、計量国語学会、日本語教育学会、日本語方法論研究会

[研究業績]

[その他の活動]

〈社会貢献活動〉 出張講義(兵庫県立小野高等学校)

### 【日本語教育学】

### 筒井 佐代 (TSUTSUI Sayo) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 日本語教育学基礎論ⅡAB、日本語教育学特別研究 AB、日本語研究指導 AB

〈共通教育担当科目〉 学問への扉

〈学部教育担当科目〉 日本語実習1(春夏学期)、日本語実習13(春夏学期)、日本語教育学概論、日本語教育学講義Ⅰab、日本語教育学講義Ⅱb、日本語教育学特別演習Ⅰab、日本語教育実習

[研究活動]

〈研究テーマ〉 日本語の話しことばの研究およびその日本語教育への応用

〈所属学会〉 日本語教育学会、社会言語科学会、日本言語学会、国際語用論学会、日本語日本文化教育研究会、社会芸術学会

[その他の活動]

〈管理運営〉 日本語・日本文化講座代表、日本語部会主任、大学院入試委員会委員、総務委員会委員、

研究・広報・社会貢献委員会委員、大学院文学研究科・大学院言語文化研究科統合協議会委員、大学院文学研究科・大学院言語文化研究科統合協議会第三部会委員、人文社会科学系卓越大学院プログラム検討WG委員、協定校コンタクトパーソン（ソフィア大学、トゥルーズ・ジャン・ジョレス大学、ルーヴァン・カトリック大学、ブカレスト大学、ランシット大学）  
〈学会活動〉言語社会科学会編集委員、日本語教育学会審査・運営協力員、日本語日本文化教育研究会運営委員

## 真嶋 潤子 (MAJIMA Junko) 教授

<http://majimajunko.sakura.ne.jp/bukosite/home.html>

### [教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語教育学実践論 IAB、日本語・日本文化特別研究 AB

〈共通教育担当科目〉日本語・日本文化を考える D

〈学部教育担当科目〉日本語教育学講義 IIab、日本語教育学特別演習 IIab、日本語実習 13 (秋冬学期)、日本語教育学演習 a (春夏学期)

### [研究活動]

〈研究テーマ〉第二言語習得論、CEFR とその応用、外国にルーツのある児童生徒への言語教育

〈所属学会〉日本語教育学会、母語・継承語・バイリンガル教育 (MHB) 学会、日本言語政策学会、ヨーロッパ日本語教師会 (AJE)、カナダ日本語教育振興会 (CAJLE)、日本語日本文化教育研究会、大阪大学言語社会学会、コンピュータ利用教育学会 (CIEC)、国立大学日本語教育研究協議会

### [研究業績]

〈単著・共著〉

- ・真嶋潤子 (2021) 「日本語教育における CEFR と CEFR-CV の受容について」西山教行、大木充編『CEFR の理念と現実』(現実編 第4章) くろしお出版
- ・Majima, J. and Sakurai, C. (2021) "A Longitudinal Study of Emergent Bilinguals among Chinese Pupils at a Japanese Public School: A focus on language policies and inclusion." In Mary, L., Krüger, A-B. and Young, A. (Eds.) *Migration, Multilingualism and Education: Critical Perspectives on Inclusion, Multilingual Matters*.

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・講師 真嶋潤子「日本語教師のためのじっくり学ぶ講座-CEFR を理解する」全4回 (2020年9月～10月 於：大阪 YMCA 日本語教育センター)
- ・基調講演 真嶋潤子「「箕面キャンパス」における日本語教育学の歩み-新キャンパスへの期待を込めて-」大阪大学日本語日本文化教育センター (CJLC) 教育関係共同利用拠点事業 第9回大阪大学日本語・日本文化国際フォーラム「コロナ禍における日本語教育の展開」2021年2月23日 於：CJLC 棟 1212 教室とオンライン Zoom でのハイブリッド型開催

〈研究助成〉

- ・平成28-平成32年度科学研究費補助金基盤研究 (B) 代表：伊東祐郎 課題番号：16H03433 「JSL

- 対話型アセスメント DLA の精緻化と外国人児童生徒のための教育的枠組みの構築」分担研究者
- ・ 2019 年度-2021 年度科研費基盤研究 (C) 代表:真嶋潤子 課題番号:19K00736 「「移動の世紀」の言語教育を考える -移民統合と CEFR-CV の基礎研究-」  
(出版助成)
  - ・ 2020 年度岸本忠三出版助成制度による出版採択 真嶋潤子編著『外国人労働者と日本語教育-技能実習生を中心に-』大阪大学出版会 (2021 年出版予定)
- [その他の活動]
- 〈管理運営〉 日本語・日本文化専攻長、講座代表者会議、研究企画推進委員会、計画・評価委員会、大学院入試委員会、キャンパスハラスメントに関する相談員、ASEAN キャンパス WG、協定校コンタクトパーソン (ジョージア大学、ポーfum大学、トロント大学、キエフ国立大学)、CJLC 拠点運営委員会、科研費相談員
- 〈学会活動〉 母語・継承語・バイリンガル教育 (MHB) 学会 (理事、査読協力者)、国立大学日本語教育研究協議会 (理事)、日本語教育学会 (査読協力者)、ヨーロッパ日本語教師会 (AJE) (査読協力者)
- 〈社会貢献活動〉
- ・ 箕面市国際交流協会理事
  - ・ 真嶋潤子監修 公益財団法人兵庫県国際交流協会 (HIA) 編『日本語とベトナム語と私 -ベトナムにつながる子どもたちの母語学習啓発作文集』(2021 年 3 月)
  - ・ 文化庁文化審議会国語分科会委員 (第 20 期)

#### 小森 万里 (KOMORI Mari) 准教授

- [教育活動]
- 〈研究科担当科目〉 日本語教育学方法論 II A、日本語教育学方法論 II B、日本語研究指導 A、日本語研究指導 B、日本語教育学特別研究 B
- [研究活動]
- 〈研究テーマ〉 アカデミック・ライティング教育、日本語教育のための文法・談話研究
- 〈所属学会〉 日本語教育学会、専門日本語教育学会、日本文法学会、日本語日本文化教育研究会、日本語教育方法研究会、アカデミック・ジャパニーズ・グループ研究会、日本語/日本語教育研究会、中国語母語話者のための日本語教育研究会、ヨーロッパ日本語教師会、カナダ日本語教育振興会
- [研究業績]
- 〈論文〉
- ・ 単著「人文科学系学術論文の『先行研究の章』におけるメタディスコース」『日本語・日本文化』48 号 pp.1-34, 2021
  - ・ 単著「アカデミック・ライティング初心者による自己調整スキルの発達」『日本語教育方法研究会誌』 Vol.27 No.1 pp.48-49, 2021
  - ・ 共著「ユニバーサルデザインの観点からみた日本語初級教材の分析—ディスレクシアの傾向をもつ

学習者に焦点を当てて―』『日本語・日本文化』48号 pp.49-72, 2021

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・ポスター発表「アカデミック・ライティング初心者による自己調整スキルの発達」日本語教育方法研究会第56回研究会（2021年3月16日、オンライン研究会）

[その他の活動]

〈学会活動〉日本語教育学会審査・運営協力員、日本語教育方法研究会運営委員、アカデミック・ジヤパニーズ・グループ幹事および副編集委員長

〈社会貢献活動〉大阪YWCA専門学校（日本語教師養成講座）講師

### 高井 美穂 (TAKAI Miho) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語教育学基礎論 I A・I B、日本語教育学研究総論、日本語・日本文化海外特別研修

[研究活動]

〈研究テーマ〉日本語の会話分析

〈所属学会〉日本語教育学会、社会言語科学会、日本語プロフィシエンシー研究学会、日本語日本文化教育研究会

[研究業績]

〈論文〉

- ・(共著)「友人関係を築くための会話教育の提案―関係深化にフォーカスした授業実践から―」『2020年度日本語教育学会秋季大会予稿集』、pp.161-166、2020年11月（共著者：田中真衣、吉兼奈津子、今田恵美、高井美穂）
- ・(共著)「ユニバーサルデザインの観点からみた日本語初級教材の分析―ディスレクシアの傾向をもつ学習者に焦点を当てて―」『日本語・日本文化』48号、pp.49-72、2021年2月（共著者：高井美穂、小森万里、立川真紀絵）

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・(口頭発表)「友人関係を築くための会話教育の提案―関係深化にフォーカスした授業実践から―」日本語教育学会2020年度秋季大会（2020年11月29日、オンライン）共同発表者：田中真衣、吉兼奈津子、今田恵美、高井美穂

〈研究助成〉

- ・平成31年度～令和2年度科学研究費補助金 若手研究「日本語母語話者による友人間の雑談における意見・考えのやりとりの研究」、研究代表者（課題番号：19K13231）

[その他の活動]

〈管理運営〉日本語日本文化専攻学務専門部会委員

〈社会貢献活動〉大阪YWCA専門学校「日本語教師養成講座」講師

## 大和 祐子 (YAMATO Yuko) 准教授

### [教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語教育学方法論 I A・I B、日本語教育学研究総論、日本語研究指導 A・B、日本語教育学特別研究 A・B

### [研究活動]

〈研究テーマ〉日本語能力評価、第二言語習得論

〈所属学会〉日本言語学会、日本語教育学会、小出記念日本語教育研究会

### [研究業績]

#### 〈論文〉

- ・「非漢字系日本語学習者向け漢字語彙テストの開発と評価：ウズベク人日本語学習者によるデータを基に」（ベリディクロヴァ、ニギナ氏との共著）『日本語・日本文化研究』30、大阪大学言語文化研究科日本語・日本文化専攻、2020

#### 〈研究助成〉

- ・「日本語学習者による漢字語彙の認知処理の特徴：学習者は漢字をどう捉えているか」（科研基盤(C)・19K00737) 研究代表者

### [その他の活動]

〈学会活動〉小出記念日本語教育研究会監査、JASLA（第二言語習得研究会）広報委員、日本語日本文化教育研究会運営委員

〈社会貢献活動〉大阪 YWCA 日本語教師養成講座講師（「日本語の教材と教具」「問題作成と評価」「教育実習①」担当）

## 立川 真紀絵 (TACHIKAWA Makie) 講師

### [研究活動]

〈研究テーマ〉異文化間コミュニケーション、日本語のビジネスコミュニケーションに関する研究、アイデンティティ研究

〈所属学会〉社会言語科学会、日本語教育学会、専門日本語教育学会、e-Learning 教育学会、日本教育工学会

### [研究業績]

#### 〈論文〉

- ・ 立川真紀絵（2021）「留学生を対象としたキャリアデザイン授業の実践報告 - 研究科目の一環としての取り組み -」『大阪大学日本語日本文化教育センター授業研究』第 19 号, pp.1-7
- ・ 高井美穂・小森万里・立川真紀絵（2021）「ユニバーサルデザインの観点から見た日本語初級教材の分析 - ディスレクシアの傾向をもつ学習者に焦点を当てて -」『日本語日本文化』第 48 号, pp.49-72
- ・ 松岡里奈・立川真紀絵（2021）「同期型遠隔授業に参加した中国人大学生に対する意識調査」『大阪大学日本語日本文化教育センター授業研究』第 19 号, pp.27-40

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・ 立川真紀絵・松岡里奈（2021）「同期型遠隔授業に参加した中国人大学生に対する意識調査」第9回大阪大学日本語・日本文化国際フォーラム

〈研究助成〉

- ・ Society5.0 学校プロジェクト

〈調査活動〉

- ・ 同期型遠隔授業に参加した中国3大学の日本語学習者に対する意識調査
- ・ 大阪大学の理科系研究室における日本語の使用状況に関する実態調査

[その他の活動]

〈学会活動〉日本語教育学会審査・運営協力員、日本語日本文化教育研究会事務局、e-Learning 教育学会理事・事務局

### 秦 秀美 (CHIN Soomi) 特任助教

[教育活動]

〈学部教育担当科目〉朝鮮語Ⅲa、朝鮮語Ⅲb

[研究活動]

〈研究テーマ〉日韓言語行動の対照研究、日本語母語話者に対する韓国語教育

〈所属学会〉日本語教育学会、MHB 学会、朝鮮学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・ 秦秀美（2021）「〈許可求め〉以外の「V-てもいい？」の運用上の特徴」『外国語教育のフロンティア』4、大阪大学大学院言語文化研究科、pp.99-111

### 【日本文化学】

### 岩井 茂樹 (IWAI Shigeki) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉比較文化 I、比較文化特別研究、日本文化研究指導

[研究活動]

〈研究テーマ〉日本における「笑顔写真」の誕生と展開

〈所属学会〉日本顔学会

[研究業績]

〈論文〉

「笑う写真」の誕生—雑誌『ニコニコ』の役割：『日本研究』第61集、国際日本文化研究センター、2020年11月30日

**加藤 均 (KATO Hitoshi) 教授**

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 日本文学研究総論、日本文化研究指導、比較思想研究Ⅰ、比較思想特別研究

[研究活動]

〈研究テーマ〉 近世・近代日本における仏教改革者の思想

〈所属学会〉 日本印度学仏教学会、日本宗教学会

[その他の活動]

〈管理運営〉 日本語日本文化教育センター副センター長

〈学会活動〉 日本印度学仏教学会理事

**五之治 昌比呂 (GONNOJI Masahiro) 教授**

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 比較文学特別研究 A・B、比較文学研究ⅡA・ⅡB、日本文化研究指導 A・B

[研究活動]

〈研究テーマ〉 日本における西洋古典の受容

〈所属学会〉 日本比較文学会、日本西洋古典学会

[研究業績]

〈翻訳・翻訳書〉

ヒュギヌス『神話伝説集』、京都大学学術出版会、2021年1月

[その他の活動]

〈管理運営〉 日本語日本文化教育センター総務委員会委員長

**佐野 方郁 (SANO Masafumi) 准教授**

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 比較社会研究、日本文化研究指導、日本歴史学特別研究

[研究活動]

〈研究テーマ〉 近現代日本の国際関係に関する研究、戦後日本の史学史に関する研究、倉富勇三郎日記研究

〈所属学会〉 史学研究会、日本国際政治学会

[その他の活動]

〈社会貢献活動〉 大阪YWCA 日本語教師養成講座講師、京田辺市史編さん専門部会会員

**柴田 芳成 (SHIBATA Yoshinari) 准教授**

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 日本文学特別研究、日本文学研究、日本文化研究指導

〈学部教育担当科目〉 日本文学史

[研究活動]

〈研究テーマ〉 日本古典文学

〈所属学会〉 説話文学会、仏教文学会

[研究業績]

〈共著〉

・『日本説話索引』第1巻（清文堂出版、2020）

[その他の活動]

〈管理運営〉 日本語日本文化教育センター学務委員、大学院日本語・日本文化専攻学務部会

〈学会活動〉 日本語日本文化教育研究会運営委員

**松村 薫子 (MATSUMURA Kaoruko) 准教授**

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 比較文化学特別研究 A・B、日本文化研究指導 A・B、比較思想研究ⅡA・ⅡB

〈学部教育担当科目〉、日本思想文化学研究基礎（春夏）4、日本語・日本文化研究指導（春夏）、日本思想文化学研究（春夏）3・6、自主研究（春夏）

[研究活動]

〈研究テーマ〉 妖怪子ども絵本の研究、地域おこし研究

〈所属学会〉 日本民俗学会、現代民俗学会、京都民俗学会、東アジア怪異学会、日本宗教学会、密教  
図像学会、比較日本文化研究会、日本語日本文化教育研究会

[研究業績]

〈論文〉

・「地域おこし研究の変遷と展望」『比較日本文化研究』20号 2020年10月

・「稲荷にまつわる怪異伝承」『朱』64号 2021年3月

・「日本人の鬼イメージ形成とその影響ー子ども絵本の考察を中心にー」『JAPANESE STUDIES IN  
SOUTH ASIA : NEW HORIZONS』Northern Book Centre 2021年3月

〈口頭発表・講演・学会報告〉

・松村薫子・松岡里奈「日研究生教育におけるオンライン授業」令和2年度日本語・日本文化研修留  
学生問題に関する検討会議 2020年11月20日

[その他の活動]

〈管理運営〉 外国語学図書館運営委員、日本語・日本文化研修留学生プログラム実施WG委員

〈学会活動〉 比較日本文化研究会 運営委員、日本語日本文化研究会 事務局

〈社会貢献活動〉 一般財団法人 国際日本文化研究交流財団 留学生奨学金選考委員

**水野 亜紀子 (MIZUNO Akiko) 准教授**

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 日本文学研究ⅢA、日本文学研究ⅢB、日本文学特別研究 A、日本文学特別研究 B、

日本文化学研究総論

〈学部教育担当科目〉 日本文化学演習Ⅲb

[研究活動]

〈研究テーマ〉 日本近代文学

〈所属学会〉 日本近代文学会、大阪大学国語国文学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・単著「芥川龍之介「煙管」を読み直す―貨幣政策を視座として―」『日本語・日本文化』第48号、大阪大学日本語日本文化教育センター、2021年2月

[その他の活動]

〈学会活動〉 大阪大学国語国文学会運営委員、樋口一葉研究会運営委員、日本語日本文化教育研究会事務局

#### 永原 順子 (NAGAHARA Junko) 講師

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 比較文化研究ⅡAB、比較文化学特別研究ⅡAB、世界文学・文化論、日本語・日本文化海外特別研修

〈共通教育担当科目〉【人文】日本語・日本文化を考えるC

〈学部教育担当科目〉 日本文化学概論、日本事情演習 a、日本文化学講義Ⅲab、日本文化学演習Ⅳab、現代超域文化論(M)、日本語 5、日本語 14、日本語 1b、日本文化学研究総論 (CJLC)、日本思想文化学研究基礎 (秋冬) 4 (CJLC)

[研究活動]

〈研究テーマ〉 日本文化論、宗教民俗学

〈所属学会〉 日本宗教学会、能楽学会、京都民俗学会、岡山民俗学会、土佐民俗学会、日本高専学会、水難学会、日本伝統音楽研究センター研究会、比較日本文化研究会

[研究業績]

〈論文〉

- ・「宗教学的観点から見た ASEAN 諸国における uitemate 普及活動の周辺」、永原順子、『季刊ういてまで』第15巻 第2号、2020年5月25日
- ・「怪異伝承と水難事故との関わり―日本および ASEAN 諸国での調査をもとに―」、永原順子、『比較日本文化研究』第20号、2020年10月20日
- ・「「くぐる」試論」、永原順子、『岡山民俗』第241号、2020年12月15日

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・「絵金の芝居絵屏風を用いた祭礼空間に関する研究 その1 祭礼における芝居絵屏風の展示形態の分類」、中野築、北山めぐみ、増井正哉、本塚智貴、永原順子、日本建築学会2020年度大会学術講演、2020年9月8~10日、web開催

- ・「絵金の芝居絵屏風を用いた祭礼空間に関する研究 その2 町家の軒先に飾られる香南市赤岡町の事例について」、北山めぐみ、中野築、増井正哉、本塚智貴、永原順子、日本建築学会 2020 年度大会学術講演、2020 年 9 月 8～10 日、web 開催
- ・「水の中の異界～祭儀・風習にこめられた人々の祈り～」、永原順子、神道国際学会第 24 回国際神道セミナー「神々と伝染病」、2020 年 9 月 13 日、キャンパスプラザ京都
- ・パネル「AI と宗教—AI・ロボットの日本文化における受容を考える—」、「擬人化された世界における AI の生命観—伝統芸能の事例から—」、永原順子、2020 年 9 月 19 日、日本宗教学会第 79 回学術大会、オンライン開催

〈研究助成〉

- ・科学研究費助成事業、基盤研究（C）「地方祭礼における空間・社会的基盤の実態と変容—高知県・絵金芝居絵屏風を対象に—」、2019 年度～2022 年度、研究分担者
- ・共同研究「京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター 能楽研究所拠点プロジェクト「能の映像にそえる楽譜」、2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日
- ・共同研究「国際日本文化研究センター大衆文化研究プロジェクト連携研究」、2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日
- ・共同研究「スマートキャンパスを先導する空気空間のデザインとマネジメント」、ダイキン工業株式会社、2020 年 7 月 1 日～2021 年 6 月 30 日
- ・共同研究「空調文化に関する教育一体型研究 —日本語・日本文化を学ぶ世界各国からの留学生の生活経験に根差した文理融合のラディカルイノベーションを目指して—」、ダイキン工業株式会社、2020 年 7 月 1 日～2022 年 6 月 30 日
- ・共同研究「学際的視点を持たせる地域連携教育研究」、株式会社坂本技研、2020 年 10 月 1 日～2021 年 9 月 1 日

[その他の活動]

〈管理運営〉日本語・日本文化専攻委員会（学務専門部会委員）、入試委員会委員、研究・広報・社会貢献委員会委員

〈学会活動〉比較日本文化研究会理事、水難学会理事（広報・会報編集担当）、能楽学会（関西例会委員）、日本高専学会査読委員

〈社会貢献活動〉みのお市民活動センターとの共同主催「マンスリー多文化サロン」、能解説（豊春会 春の能ほか）